

## ■祖母井南部地区の状況

- ・事業実施期間 平成13年度から平成26年度
- ・対象面積 27ヘクタール
- ・総事業費 約57億円

平成13年に国の認可を得て始まった土地区画整理事業は、来年度に換地処分を実施し、事業が完了します。今後は、保留地・分譲地の販売など土地活用を図るため、情報収集やPR活動を行っています。

このエリアでは、町が「薬師の郷」などの新規住宅地や商業集積地「モテナス芳賀」を、県が県道宇都宮茂木線バイパスを整備しました。



▲薬師の郷



▲土地区画整理後の祖母井南部地区

## ■祖母井中部地区の進捗状況と計画

- ・事業実施期間 平成24年度から平成33年度
- ・対象面積 20ヘクタール
- ・総事業費 約18億円(計画)

昨年度からこのエリアの事業が始まりました。芳賀東小学校から祖母井神社までの約20ヘクタールのエリアで中央部を通る県道真岡那須烏山線の拡幅、東西の町道、公園、下水道などを個別に整備する方針としました。県道は今年度から用地買収方式で整備を進め、場所によっては区画整理手法も取り入れる予定です。祖母井神社までは8年程度の期間で完了させる計画です。

そのほかの道路整備は町道として町が行いますが、町体育館周辺などは、町道が振り替えられる計画があるため土地区画整理事業を検討しています。これらの道路整備と併せて下水道の整備を進め、市街地内の水路の水質改善を図ります。

今年度は、町体育館西側の町道など3路線合わせて470メートルを整備します。併せて下水道管を約530メートル布設し一部で使用開始できるようにします。そのほかの町道拡幅工事については、地元調整を進め、用地測量や物件調査を行います。



▲町道改良工事(町民会館付近)



▲現在の祖母井中部地区(中央通り北)



▲現在の祖母井中部地区(中央通り南)



▲現在の祖母井北部地区

## ■祖母井北部地区の進捗状況と計画

- ・事業実施期間 平成30年度から平成37年度(想定)
- ・対象面積 9ヘクタール
- ・総事業費 約20億円(計画)

祖母井神社から北側の祖母井北部地区は、県道真岡那須烏山線が祖母井神社の西側に振り替えられる計画があるため、土地区画整理事業による面的な整備を基本として検討しています。

今年度は、土地区画整理事業の計画内容をまとめるため、「まちづくり研究会」を通じて、地元住民や関係権利者との意見調整を進めます。

# 特集 住みやすくきれいなまちを次世代に

平成25年度芳賀町重点施策 その3 計画的なまちづくりの推進

今年度の重点事業を検証するシリーズの3回目は、「計画的なまちづくりの推進」です。計画的なまちづくりの中心は、祖母井市街地整備です。市街地整備とは、宅地を整え道路や下水道を整備することで、住みやすく衛生的な環境を創造することです。

祖母井地区の市街地整備は、今から約20年前に祖母井地区の皆さんと町で計画されました。当時は約200ヘクタールの壮大な構想でしたが、国や県との協議の中で、祖母井を3つの区画に分け実施することになりました。

## 「祖母井市街地整備構想図」

